

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 28 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530133

研究課題名（和文） チャールズ・A・ビアードと日米関係に関する研究

研究課題名（英文） Charles A. Beard and Japanese-American Relations

研究代表者

中嶋 啓雄（NAKAJIMA HIROO）

大阪大学・大学院国際公共政策研究科・准教授

研究者番号：30294169

研究分野：アメリカ政治外交史

科研費の分科・細目：細目：政治学・国際関係論

キーワード：チャールズ・A・ビアード、日米関係、文化交流

1. 研究計画の概要

本研究は、20 世紀前半のアメリカを代表する政治学者・歴史家チャールズ・A・ビアード（Charles A. Beard）と政治家・後藤新平の周辺にいた日本の知米派知識人との交流を、広く日米関係史の文脈に位置づけようとするものである。本研究の目的は、ビアードと後藤やその娘婿・鶴見祐輔、高木八尺、松本重治ら知米派知識人との間の 1920 年代から戦後直後にかけての親交について、オーラル・ヒストリーを含む米日の史料を駆使して実証的に検討して、それが戦後日米関係、特にその文化的側面にどのような影響を与えたのかを明らかにするものである。

2. 研究の進捗状況

研究の枠組みの構築、史料の収集、論文の執筆それぞれおおむね順調に進展している。

まず、初年度は本研究課題についての予備的考察を行なった学術論文を 1 本発表した。また、アメリカ史家協会（Organization of American Historians）の年次大会に出席し、本場アメリカの研究動向について、大要を把握することができたのは大きな成果であった。また、同大会において、幾人かのアメリカ外交史研究者と知り合えたのも知的財産となった。同年度は、日本における史料収集も進んだ。

次年度はウィスコンシン大学に隣接するウィスコンシン州歴史協会に赴き、研究遂行上、きわめて貴重な史料を閲読・収集できた。さらに日本においても、東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター図書館所蔵の高木八尺文庫の新史料を発掘できた。高木文庫の未整理の史料に埋もれていた戦前から前後初期にかけての高

木とビアード夫妻との間の書簡であるが、アメリカでも知られていないもので、予想以上の成果であった。

昨年度は収集した新史料を用いて、オーストラリア・ニュージーランド・アメリカ学会の大会（隔年開催）において、研究報告を行なった。そこで世界的にも著名なオーストラリアのアメリカ研究者からもコメントや助言を得たのは今後、国際的に本研究を遂行していく上でも大きな収穫であった。また、ビアードと知米派知識人との交流に着目した「知的交流に見る戦前・戦後初期日米関係の断絶と継続」と題した論考を学術書に寄稿して、今年 9 月に予定されている刊行を待っている状態である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

（理由）

学術雑誌や学術書への寄稿を果たし、3 年間で最終的な研究の枠組みが出来上がりつつある。史料収集についても大きな成果を上げられている。さらに国外でも研究を発表する機会を与えられた。

4. 今後の研究の推進方策

史料については、日本においてこれまでの調査で漏れたものを重点的に収集すると同時に、まだ調査に赴いていないアメリカの大学図書館や文書館で、関連文書の閲読・収集に努める。

並行して研究の枠組みを再検討し、新たに入手した史料に基づきビアードと知米派知識人との交流の検証を進め、新しいビアード像の提示や従来、十分に光が当てられてこな

かった、戦前から戦後直後にかけての日米間の知的交流の実態を提示する学術論文を執筆する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

中嶋啓雄「チャールズ・A・ビアードと日米関係——国際主義と孤立主義」『EX ORIENTE』15号、119～137頁、2008年、査読無し(依頼論文)

〔学会発表〕(計1件)

Hiroo Nakajima, “Charles A. Beard as Cultural Internationalist: The Case of Japanese-American Relations,” Australia and New Zealand American Studies Association, July 3, 2010, University of Adelaide.

〔図書〕(計1件)

中嶋啓雄、ミネルヴァ書房、『日米同盟論——東アジアに位置する日本の行方』2011年近刊(共著)